



二十七年三月廿五日

甲辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日

日辰年三月廿五日



二五孝子出矣此拜

三子甲海清と題す

所出の書は地味厚

み事な固く守るに

三四節より服をたす

下の海清を清海と

とて名をたす書す

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

海清の書清海と

... 是每里... 諸君分... 耳... 門... 物... 若... 公... 以... 其... 物... 此... 情... 重... 可... 好... 字... 新



之乃良之為世也  
以自序之有在也  
聖相子流中為本  
以而格之字之也  
以之字之與也  
二下  
之好  
之好

日本帝國東京市

麹町區飯田町

樞密院大臣陸軍將領三好重臣閣下

親展 公用



日本帝國大臣陸軍

陸軍中將 桂 太



廿二年二月廿二日